

クモノシダ

Asplenium ruprechtii Sa.Kurata
チャセンシダ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内で知られている生育地は9箇所、石灰岩が分布している地域である。岩石のすき間に根をはり生えている。地形の改変、採取圧等で減少している。

分 布

全国分布は北海道～九州。県内分布は大野市、美浜町。

種の特徴

常緑性で石灰岩のすき間に根をはる。葉は単葉で狭い披針形。葉の先は細くなって糸状に伸び先端から芽を出す。孢子嚢群は中肋の両側に不規則につく。

生育を脅かす要因

道路造成、採取圧、植生遷移。

参考文献 渡辺定路 (2003)、岩槻邦男編 (1992)、倉田悟・中池敏夫編 (1981)、中池敏之 (1982)、福井県植物研究会 (2000)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
				○												○	

コモチシダ

Woodwardia orientalis Sw.
シシガシラ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内で知られている生育地は10箇所である。どの生育地も川岸や海岸等岸壁で生育環境が厳しく不安定である。

分 布

全国分布は本州～九州。県内分布はおおい町、美浜町、小浜市、敦賀市、福井市、勝山市、大野市。

種の特徴

葉柄は太く、長さ約50cmで多くの鱗片をつける。葉身は2回羽状中裂、広卵形で葉柄より長い。葉の表面から多くの無性芽を出す。孢子嚢群は厚い包膜につつまれ、羽片軸にそって両側につく。長さ2mになる。

生育を脅かす要因

日当たりのよい岸壁に生育するため道路工事等で減少する。

参考文献 渡辺定路 (2003)、岩槻邦男編 (1992)、倉田悟・中池敏夫編 (1987)、中池敏之 (1982)、福井県植物研究会 (2000)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○		○	○	○									○	○	○

オオメシダ

Deparia pterorachis (H.Christ) M.Kato
イワデングダ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内の生育確認地は8箇所あるが、ほとんど深山の湿った林床や溪流沿いであるため、あまり個体数の変化がないが、林道沿いの2箇所は減少しつつある。

分 布

全国分布は北海道～本州。県内分布は大野市、勝山市。

種の特徴

深山の林床や溪流沿いに生育する大型のシダ。葉柄は長さ30～80cmで太い。葉身は2回羽状深裂し、長さは50～100cmで、幅は20～40cm。孢子嚢群は長楕円形、まれにJ型で小羽軸沿いに並ぶ。

生育を脅かす要因

深山の林床や溪流沿いに生育する。人間による踏みつけ、道路工事等で減少するおそれがある。

参考文献 渡辺定路 (2003)、岩槻邦男編 (1992)、倉田悟・中池敏夫編 (1990)、中池敏之 (1982)、福井県植物研究会 (2000)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
															○	○	